



ともに輝き、 ともに生きる

「地球広場」発！長岡の多文化共生



世界が先生（9月4日、富曾亀小学校）



最近、外国の人をよく見かけませんか。実は、みなさんの近くに住む外国人は増えているんです。市内には51カ国約2,400人の外国人が暮らし、4大学1高専がある長岡では留学生の割合も多くなっています。

少子高齢化や人口減少、経済のグローバル化が進む中では、外国人も含めた全ての人々が活躍できる環境が必要です。国籍や文化が異なる人々がお互いの多様性を認め合い、誰もが暮らしやすく、活躍できる「多文化共生」のまちづくりが求められています。

長岡の共生を实践！地球広場が20年目に

国籍にかかわらず、気軽に立ち寄れる国際交流センター「地球広場」。全国に先駆けて外国人市民の生活相談や自立支援、国際理解などの拠点としてオープンし、10月で20年目を迎えました。

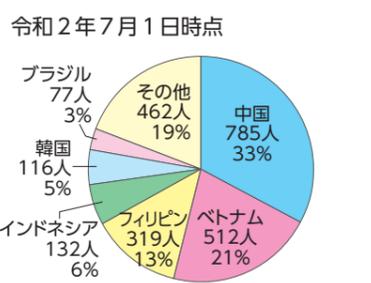
お互いを認め、理解し合うためには、相手を知ることが第一歩。これまでの地球広場のあゆみや現在の取り組み、市内で活躍する外国人などの想いに触れ、一緒に長岡の共生を考えてみませんか。

国際交流センター ☎ 39・2714

市内の外国人市民数の推移



市内の国籍別外国人市民



地球広場のあゆみ

- 平成13年10月 市民センター1階にオープン①
- 平成14年4月 「世界が先生—国際人育成事業」開始 P.8
- 平成16年10月 中越大地震の外国人被災者を支援②
- 平成17年6月 「にほんご広場」開始 P.9
- 平成17年9月 FM多言語放送「ワールドカフェ」開始
- 平成21年4月 「日本語講座（平成6年度から国際交流協会が実施）」③、「外国人児童生徒支援事業」P.10 開始
- 平成21年7月 国際理解講座「ぶらり地球旅行」開始
- 平成29年2月 「地球広場 多文化共生ビジョン」策定
- 令和元年6月 ベトナム人通訳員配置④ 県内初、多言語コールセンター導入

HISTORY



CHIKYU HIROBA

